

2025年度 一般選抜Ⅰ期【国語】 出題意図

第1問

問一 基礎的な漢字の読み書きについて、高校卒業程度の語彙力を問う出題である。6問中、3つは文中のカタカナを漢字に直す問題、残り3つは漢字に読み仮名を振る設問とした。

問二 問一に続き、言語事項に関する問題で、基礎的な言葉の意味を問う出題である。単なる文章語としてではなく、日常場面でも見聞きするような言葉の基礎的な理解を測る設問とした。

問三 指示語が指し示す内容を問題文の内容に沿って、解答欄に記述させる出題である。この設問も文脈に従って、指示語が指す内容を正しく理解しているかを問う基礎的な設問とした。

問四 問題文中のある一文を取り出し、その文と同じ意味を表す内容を具体的な例を挙げつつ説明している別の文を探し出させる出題である。きちんと文脈を押さえた的確な理解がなされているかを問う設問とした。

問五 問題文全体の読解能力を測る出題である。選択肢の内容を文章全体と見比べながら、的確に問題文の内容と合致するものを選び出す形式の設問とした。

第2問

問一 第1問は説明的な文章からの出題であるが、第2問は文学的な文章からの出題とした。うち、本問については、第1問の問一と同じく、基礎的な漢字の読み書きについて、高校卒業程度の語彙力を問う出題である。6問中、3つは文中のカタカナを漢字に直す問題、残り3つは漢字に読み仮名を振る設問となっている。

問二 登場人物の発言に関わる部分を取り上げ、当該場面における比喩的な発言の意味を文脈に沿って具体的に説明させる出題とした。文脈の流れに沿ってきちんと理解していれば、答えられる内容である。

問三 文学的な表現に使われる言葉の意味を問う出題とした。この設問も対象となる文章は第1問とは異なるが、基礎的な語彙力が解答者にどの程度あるかを測る設問となっている。

問四 本文中で用いられている「ことわざ」に着目し、そうしたことわざの言い回しの理

解を測る出題とした。難解なレベルは避け、基礎的なレベルのことわざに関わる表現を問うものである。

問五 文学的な文章においては、意味を知っておいてほしい言葉を取り上げた。もちろん、文脈上からもある程度の推測はつくが、基礎的な言葉の理解に関わることを問うものである。

問六 登場人物の心理描写を含め、問題文の展開に沿って、人物の心理の展開をどの程度的確に理解しているのかを測る出題とした。文章全体の中で登場人物の心理の変化を理解することに比重がある。

第3問

A・B 基礎的な四字熟語の読みとその意味を問う問題であり、いずれも高校までの現代国語の学習時間に一度は触れるようなレベルの基礎的な内容とした。

C・D 基礎的なことわざの意味を問う問題であり、これも上記同様、高校までの現代国語の学習時間に一度は触れるようなレベルの基礎的な内容となっている。

E 近代文学の文学史に関わる出題。文学史上の役割や当該作家の代表的な作品を取り上げた説明内容を読み、文学史上、有名な作家名を記述させるものとした。